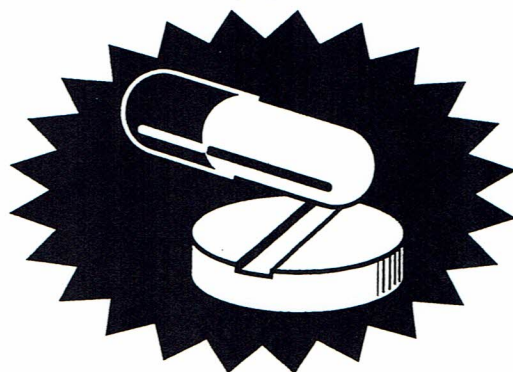




薬害オンブズパーソン・ タイアップ札幌 18周年記念講演

子宮頸がんワクチン (HPVワクチン) 訴訟の意義と目的



「薬害オンブズパーソン会議」は、薬害エイズ訴訟の弁護団と全国市民オンブズマン連絡会議の呼びかけにより、1997年6月に発足した民間のNGOです。医師、薬剤師、薬害被害者、弁護士、市民らで構成された会議体で、市民への医薬品に関する情報提供、厚生労働省や企業に対する公開質問や要望等を行っています。

「薬害オンブズパーソン・タイアップ札幌」は、薬害オンブズパーソン会議のタイアップグループ札幌支部として1999年2月に設立された市民組織です。薬害オンブズパーソン会議とともに市民の立場で薬害の発生を防止する事を目的とし、各種調査、研究、学習、各種イベントの開催などの活動を行っています。

今回の講演は、薬害オンブズパーソン会議の事務局長でHPVワクチン薬害訴訟全国弁護団代表の水口真寿美弁護士を講師に、HPVワクチン訴訟の意義・目的について、訴訟までの経緯等も含めてお話しいただきます。

昨年7月、全国4か所で一斉に国や製薬会社を被告とする集団提訴が提起されました。現在までの原告数は119人で北海道からの原告も含まれています。北海道では訴訟を支援する会の結成にむけて準備をすすめています。

記念講演は会員以外の方でも参加できます。多くの方の参加をお願いします。

◆講師◆ 水口 真寿美氏 (HPVワクチン薬害訴訟全国弁護団代表)

●3月11日(土) 15:00～総会 15:30～講演会

講演前に15:00から第19回タイアップ札幌総会を行いますので、タイアップ会員および入会希望の方はご参加ください。

●北海道クリスチャンセンター 2階ホールにて (札幌市北区北7条西6丁目)

●参加費500円

●お問い合わせ先/三浦 五郎(HMメディカル協同組合)
Tel. 011-782-9292

